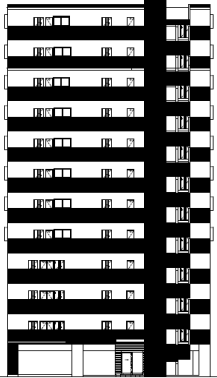
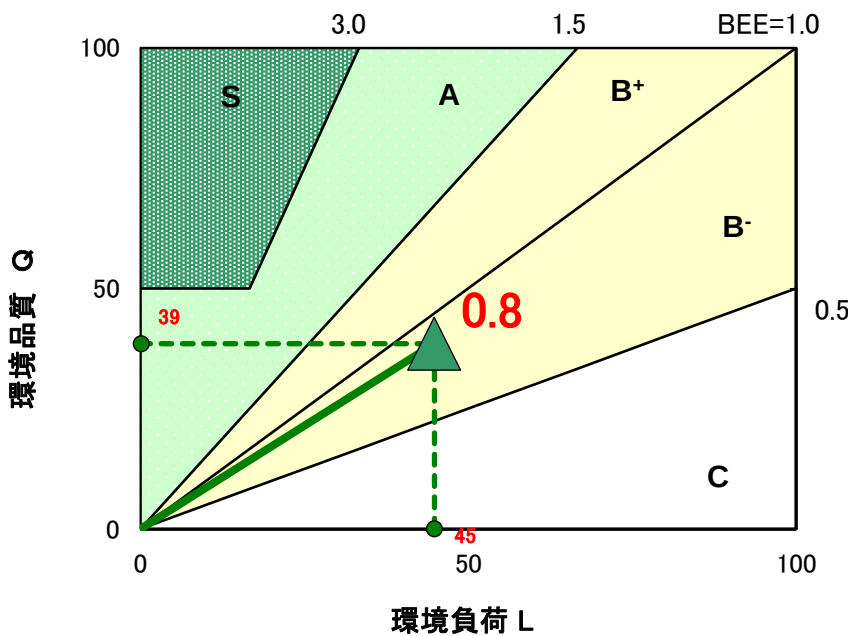


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	(仮称)下南部3丁目マンション(西棟)	階数	地上12F		
建設地	熊本市東区下南部3丁目363-4	構造	RC造		
用途地域	準工業地域、第2種中高層住居専用	平均居住人員	82 人		
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年7月30日		
敷地面積	1,178 m ²	作成者	長田		
建築面積	232 m ²	確認日	2019年7月30日		
延床面積	2,151 m ²	確認者	上村		

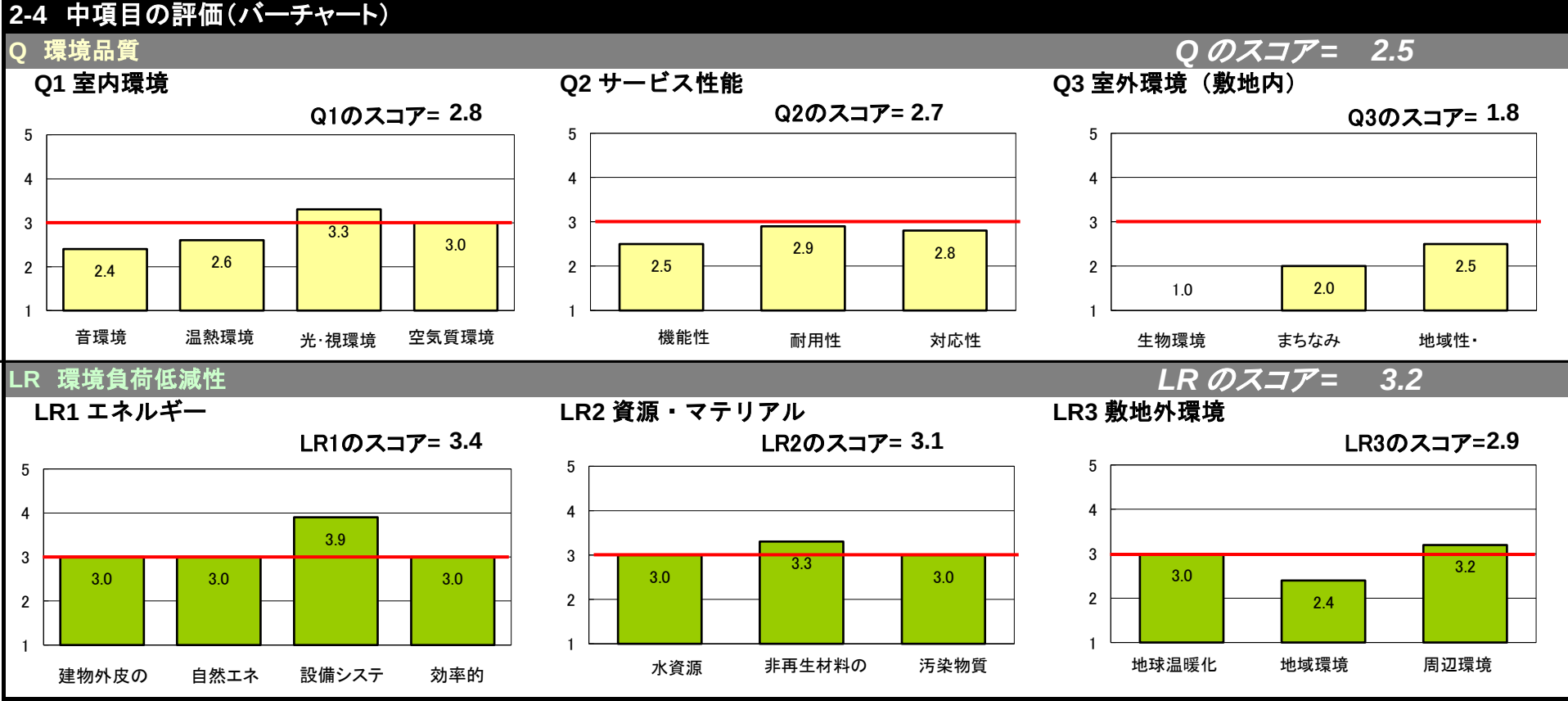
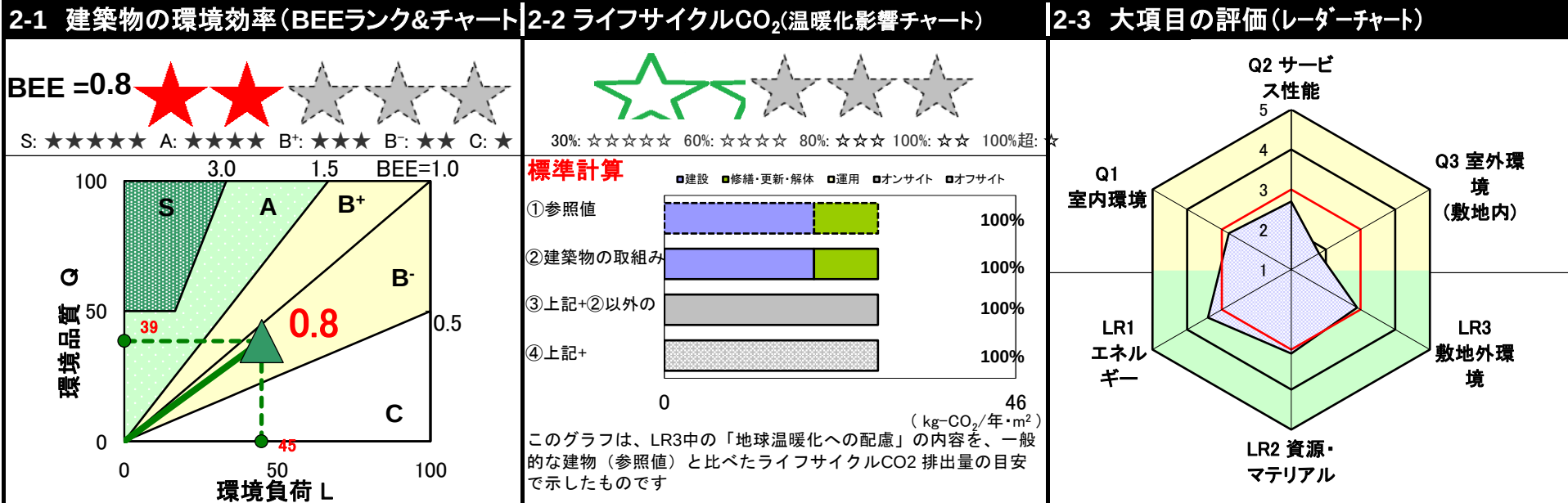
1 CASBEE評価結果																																				
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																				
																																				
			BEE = 0.8 ■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$ ■環境効率評価基準 <table><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></table>		ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—
ランク	ランク表示	評価	判定値																																	
			BEE値	Q値																																
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																
C	★	劣る	0.5未満	—																																
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)			排出率																																	
			100%																																	
				■ライフサイクルCO ₂ 排出性能評価基準																																
				<table><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></table>	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆																				
判定値(排出率)	ランク表示																																			
30%以下	☆☆☆☆☆																																			
30%超60%以下	☆☆☆☆																																			
60%超80%以下	☆☆☆																																			
80%超100%以下	☆☆																																			
100%超	☆																																			

2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
				71
		評価点	■熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進		75.5	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現		61.2	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全		70.0	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現		74.2	60点以上80点未満	
			40点以上60点未満	
			40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。				

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要			1-2 外観
建物名称	(仮称)下南部3丁目マンション(西棟)	階数	地上12F
建設地	熊本市東区下南部3丁目363-4	構造	RC造
用途地域	準工業地域、第2種中高層住居専用	平均居住人員	82 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年7月30日
敷地面積	1,178 m ²	作成者	長田
建築面積	232 m ²	確認日	2019年7月30日
延床面積	2,151 m ²	確認者	上村



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)下南部3丁目マンション(西棟)新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境						0.40		-	2.8
1 音環境					2.0	0.15	2.5	1.00	2.4
1.1 室内騒音レベル			(共用部)エントランス:50dB(A) (住居部)住戸:40dB(A)		3.0	0.50	4.0	0.50	
1.2 遮音					1.0	0.50	1.0	0.50	
1 開口部遮音性能					1.0	1.00	1.0	0.30	
2 界壁遮音性能					3.0	-	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	1.0	0.20	
1.3 吸音					3.0	-	3.0	-	
2 温熱環境					1.0	0.35	3.0	1.00	2.6
2.1 室温制御					1.0	0.50	3.0	1.00	
1 室温					1.0	0.63	-	-	
2 外皮性能					1.0	0.38	3.0	1.00	
3 ゾーン別制御性					3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					3.0	0.25	3.4	1.00	
3.1 昼光利用					4.2	0.30	3.4	0.30	
1 昼光率			(共用部)エントランスホール:6.65% (住居部)BタイプLD:1.40%		5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口					-	-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					2.0	0.30	4.0	0.30	
1 昼光制御			(共用部)底により制御 (住居部):カーテン・底(バルコニー)の設置		2.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境					3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
4.1 発生源対策					3.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学汚染物質					3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視					3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御					3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.7
1 機能性					2.4	0.40	2.6	1.00	2.5
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観					-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3 内装計画					1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					2.9	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					2.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			2種以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性				3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり			構造部材・仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる 仕上材を痛めることなく、更新・修繕できる	-	-	2.6	0.50	
1	階高のゆとり	3.0		-	3.0	0.60		
2	空間の形状・自由さ	3.0		-	2.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり				3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0		0.20	-	-		
2	給排水管の更新性	3.0		0.20	-	-		
3	電気配線の更新性	5.0		0.10	-	-		
4	通信配線の更新性	5.0		0.10	-	-		
5	設備機器の更新性	1.0		0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.2
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制				3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.91	3.9	0.50	-	-	3.9
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-		
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-		
集合住宅の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			壁・天井・木下地	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-		
3	冷媒		3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	
1 地球温暖化への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-		
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-		
2	振動		-	-	-	-		
3	悪臭		-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	・光害がガイドラインチェックリスト ・過半を満たす ・広告照明なし	5.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		

CASBEE[®] 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

- ・建築物を中高層(12F)にし、廻りの空間をできるだけ確保するように努めた

Q1 室内環境

- ・窓を大きくとり採光を効率よく取れるようにした

Q2 サービス性能

- ・将来の更新を想定し、全室ビニルクロスを採用

Q3 室外環境（敷地内）

- ・外壁材(タイル)の彩度を落したデザインとし、周囲への太陽光の反射やグレアの軽減を図る

LR1 エネルギー

- ・日射遮蔽性を図り、断熱性能を高めるよう、テラス(ベランダ)の奥行を広く計画した

LR2 資源・マテリアル

- ・限りある資源を有効に利用する。ハロン消化剤を使用しない

LR3 敷地外環境

- ・ゴミの散乱を防ぐよう扉付の既製品を採用した

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)下南部3丁目マンション(西棟)新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		71
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				75.5	0.40	30.20
Q1-2.1.2	外皮性能	1.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.9	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				61.2	0.20	12.24
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				70	0.20	14.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				74.2	0.20	14.84
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	2.9	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数